

全国のリスナー・読者のみなさんから、ファミリー・フォーラム宛に、Eメールやお便りを頂いています。 その一部をここで紹介いたします。

○いつもながら今回も、家族・家庭・性について、あちこちにヒントがちりばめられた内容に感謝します。今回の48号では、私にはクリストファー・ユアン師の講演録がダントツのインパクトがあり、地味ながらしみじみと読ませていただいたのは大内ご夫妻の証しでした。

お働きが、ますます日本の教会とクリスチャンのために用いられ、壊れた家族の中で苦しむ周囲の方々を、クリスチャンが主のご愛にお導きできますように祈りつつ。

(東京都 Oさん)

○マガジン48号を40冊お送りください。豊かな内容をありがとうございます。近隣の超教派の出会いなどでも紹介したいと思っております。このような冊子が用いられる莫大な必要があると思います。

(大阪府 Fさん)

*編集部より

10月、札幌市にて「金子耕式のファミリー・トーク講演会」を開催しました。当日のアンケートから抜粋しました。

・ラジオでは短い時間ですが、今日は講演会でゆっくり聞くことができ、ありがとうございます。少しずつでも、尊敬される父親に近づけるよう努力したいです。(Iさん)

・親は子どもにとって良いリーダーにならねばと思いました。

「パパの小さい頃の話」「感動を共有すること」の大切さが身にしました。特に、父親との関係の善し悪しと女の子の性体験が深い関わりがあると知って、納得しま

した。番組は、毎回楽しみに拝聴しています。(Yさん)

・楽しく分かりやすい話をありがとうございます。子育てばかりではなく、夫婦のあり方についても参考になりました。いつも仕事をしながらですが、番組に耳を傾けています。子どもを持つ親にとっては、心にしみこむことばかりです。これからも「ファミリー・トーク」を楽しみにしています。(Nさん)

・親として、できそうでできないことが沢山ありました。私はゆっくり考えて子育てをしなかったようを感じ、反省しています。でも、今からでも遅くはないと思うこともあります。(Sさん)

北海道では、10月上旬に他にも数カ所でセミナーや講演会を開きました。お世話になりました皆様に改めてお礼申し上げます。

○アメリカにとって今回の大統領選はいろんな課題を提示しました。特にカリフォルニアでは、伝統的な聖書の結婚觀が守られるかどうかについての投票も行われ、「結婚は男女のカップルに限る」という聖書的結婚觀が過半数の指示を得ました。

けれども、開票翌日より反対派の大規模なデモが行われ、メディアを通してそれをくつがえそうとする動きが高まっています。

オバマ次期大統領は、民主党のリベラル派ナンバー1として、中絶問題や同性婚問題などで聖書の教えに従うクリスチヤンとは反対の立場です。神さまのみことばを愛し従うことを第一とするクリスチヤンにとっては、様々な困難が



やってくることが想像されます。アメリカのためにもぜひお祈りください。

(アメリカ カリフォルニア州 Mさん)

*編集部より

日本では広く報道されていない情報をお教えていただき、ありがとうございます。聖書に「すべての高い地位にある人たちのために」とあるように、政治情勢に関心を持ち祈る必要があるのは、日本でも同じですね。

○『性同一性障害QアンドA 一クリスチヤンとして考える』を読みました。この障害の説明から、海外での情報、手術を受け後悔された方がいるということ、神さまを通して癒された方の証、クリスチヤンとしてどう受け止めるべきなのか、体の問題ではなく脳の病気だという説明など、分かりやすかったです。

教会ではタブー視されがちな話題ですが、クリスチヤンとして、軽視できない問題です。世の中では性別を変えることが正当化され、性転換手術が唯一の解決法という傾向があるのには心を痛めます。

日本でも「性同一性障害」の方へのサポート・グループが誕生し、癒された方の講演が実現されるよう祈ります。(東京都 Aさん)

お便り募集 編集部では、皆様からのご意見やご感想をお待ちしています。
home.office@ffj.gr.jp
TEL&FAX.045-933-3875